



- 学長・副学長メッセージ
- 暮らしサイエンス
健康的な食生活を送るために
- 研究センター紹介／ゼミ紹介
・転倒予防研究センターの取り組み
・健康スポーツ学科「下山ゼミ」紹介
- 新入生へのアドバイス
・勉強編 ・生活編
- 部活動紹介
野球部・フットサル部・写真部・レクア.コム部・ダンスサークル・手話部
〔クラブ・サークル一覧・強化指定部戦績〕

- 厚生棟・施設紹介
- CAMPUS NEWS
- 学友会
- 受験生のみなさんへ
- 大学院

学長メッセージ

国際貢献のためには発信能力を備えましょう!

本学は、開学の理念として「QOLを支える人材の育成」、「地域社会のニーズに応える」そして「国際社会に貢献する」を掲げています。その国際交流・国際貢献を実践するには、国際社会へ情報発信ができて初めて可能となります。明治以降の日本では、「国際」というと新しい知識や技術を先進的な外国から導入し、発展させるというスタンスでした。今後は国際社会への貢献として、我々が持つ先進的なそして独自の知識や技術を、諸外国、特に発展途上国にプラスになるような方向で提供するというスタンスが大切です。そのためにはコミュニケーション能力、情報を発信する能力を持つことが必要です。諸外国から、日本は情報を吸収するが、発信は全然しない「情報のブラックホール」と呼ばれ、日本は何を考えているのかわからないとも言われていることを変えなければなりません。

本学が育成する人材は、第一に英語での情報収集力が必要です。インターネットを駆使する時代で、翻訳に頼るのではなく、自ら検索し、必要な情報を集めることが必要です。海外からの新しい論文や、書籍などの文献から最新の知識を修得し、それを患者様やスタッフに還元していくことができるからです。第二に、コミュニケーション能力、情報発信力を持つ人を目指しています。後述するように超高齢社会となった日本の教育、研究の内容を発信することが必要です。さらに、今後、介護施設などで受け入れていく外国人スタッフは日本語が使える前提ですが、円滑なコミ

ュニケーションをとるためには、日本人スタッフも英語での専門用語等の知識が必要とされますし、さらに海外で活動する際に、医療・福祉分野でのリーダーとなる人材は外国人、日本人の枠を超えて全スタッフを統括していく必要があるため、国際語としての英語でのコミュニケーション能力が求められます。このことから人材育成・国際交流でいちばん大切なのは、まず情報を発信できる能力が必要です。

わが国は超高齢社会と呼ばれるようになりましたが、死因の第一位である「がん」、そして心臓病、脳卒中、高血圧、糖尿病など生活習慣病の予防、治療やケアは重要です。その患者様の「生活の質」を向上させる研究の成果は、今急速に高齢化が進んでいる諸外国で非常に興味をもたれています。例えば、今年4月から義務づけられた特定健康診査・特定保健指導の対象であるメタボリック症候群は、新潟県が、日本で対象者が最も少ないというデータがあります。それは何故なのか、その原因と維持するためにはどうするか、の研究成果を世界に発信することは大きな価値があります。

本学では開学以来、英語での発信能力を高めようと取り組んできました。英語の学習は必須科目ですが、英語を学ぶことに興味を持つ人は、さらに選択科目として取得できます。本学では海外の大学と学術交流や提携を推進していますが、学術交流校として米国カルフォルニア州立大学フレソノ

校などとの交流も、その一環として、各学科の学生が語学研修や学術交流を目的として数多く訪れています。海外研修では、外国に身を置くことにより、自分のコミュニケーション能力の現状を把握することもできますし、外国語を学びたいという、さらなる学習への意欲もできます。専門分野の見学も含めた1〜3週間の短期英語研修、さらに1年間の長期英語留学は若い皆さんの飛躍に大きく役立つと信じています。学生生活を快適にするための物品は、時間がたてば古くなり、価値が落ちていきます。しかし、一度身につけた英語のコミュニケーション能力は、それを使いこなすことによって、付加価値もどんどん上がっていきます。英語が苦手な人も、「習うより、馴れる」ということわざがあるように、やれば必ず上手く使えるようになります。英語を学ぶというこの貴重な機会を、早い学年のうちから、活用していただきたいと思います。その他、英語だけでなく、韓国語を選択した人も韓国における短期研修に参加できる制度があります。英語が好きで、学ぶ皆さんが、将来、コミュニケーション能力を発揮して、国の内外で、大きく活躍することを期待しています。



新潟医療福祉大学
学長 高橋 栄明

副学長メッセージ

よりよく生きるための人間力を養いましょう

最近、力強く生きていくために必要なものの一つは人間力だということがよく言われます。人によっては基礎力と呼ぶ人もいます。この人間力には3つの要素があると思います。

一番中心になるのは知力です。処理力とか思考力あるいは課題解決力とか問題解決力とも呼ばれます。具体的にはいかに早く言語的・数的課題を処理できるか、物事を論理的に考えることができるか、そして情報の収集と分析、計画の立案と実践、評価ができるか、といったことがあげられます。こうした知力は学力とも密接に関係しているものです。

次いで、人間同士の関係を司る対人関係力・社会関係力があげられます。他人と親和的な関係を築くことができるか、協働的

に物事を進めていくことができるか、建設的な議論とともに、交渉や説得ができるか、コミュニケーション力も対人関係力の一部と考えてよいと思います。

3つめは、自己制御力（セルフコントロール力）です。自分の感情とか情動をマネジメント（管理）する力です。ストレスマネジメントもこれに入ります。モラル（やる気）を維持することやよい行動の習慣づけなども含まれます。

このような3つの力に支えられた人間力が備わっていれば、どのような社会に出ていってもしっかりと対応していけると思います。

私はこうした人間力を養う第1歩として、文献の要約をトレーニングしてほしいと思

います。どのような文献でもいいですから、とにかく読んで、筆者・著者はこの本で何をいいたいのか、それを一生懸命に考えて、原稿用紙1, 2枚にまとめてください。とにかく本を読んで、書いて、できればそれを誰かの前でプレゼンテーションしてください。この読む、書く、話すということはどんな時にも必要だと思います。また、人間関係力や自己制御力を養うためには、色々な奉仕（ボランティア）活動に参加することがとても大切であることを最後に指摘しておきたいと思います。



新潟医療福祉大学
副学長 米林 喜男

健康的な食生活を送るために

夜型の生活スタイルになりやすい大学生生活では、朝寝坊して時間に余裕がない、食欲がないなどの理由で朝食を抜く人が多いようです。しかし、朝食を抜くと昼食まで空腹が続く、血糖値が下がって脳にエネルギー補給ができなくなり、頭がぼーっとしたり、イライラしたり、ストレスを招く原因になります。朝食には寝ている間に下がった体温を上げ、体と頭をシャキッと目覚めさせる効果があります。朝食のポイントは、脳のエネルギー源になる糖質と、体温を上げるのに有効に働くタンパク質を料理していただくことです。さらに、ビタミン類もとれるようバランス良く料理を組み合わせ、午前中の活動に必要なエネルギーが過不足なく満たされるメニューが理想です。新生活を元気にスタートするためにも朝食はしっかり食べるようにしましょう。

ダイエットを気にしている人も朝食抜きが習慣になると基礎代謝（生命を維持するための必要最低限のエネルギー代謝）が低下するため、脂肪が分解されにくくなり太りやすい体質になりますので注意が必要です。また、朝食を抜いてもその分昼食や夕食を食べ過ぎたり、むやみに間食をしたりして結果的に過剰にエネルギーを摂取している場合も多くみられるので逆に肥満の原因にもなりかねません。とはいえ、必要な栄養素を考えながらバランス良く食べることは楽ではありませんね。そこで、1日に「何を」「どれだけ」食べたらよいかが一目でわかる「食事バランスガイド」をご紹介します。

コマの形をした「食事バランスガイド」は、1食に何をどれだけ食べればよいかを、主食、副菜、主菜、牛乳・乳製品、果物の5つの料理区分に分け、各料理区分の量的な基準量を「つ（またはS V；サービング）」という単位で示します。主食は3食欠かさず、副菜は野菜をたっぷり、主菜は油脂のとりすぎに注意、果物は適量を毎日、牛乳・乳製品は毎日欠かさないことが1日の食事の基本となります。加えて、菓子・嗜好飲料はコマのひもとして楽しく適度に（200kcal以内）とされています。

さらに、人間の健康状態を維持するためには、水分と適切な運動も不可欠です。それらは、コマの上部にコマをまわす軸として配置されています。コマが不安定な状態は偏った食事や運動不足が原因と考えられ、食生活の改善を見直すきっかけにも役立ちます。下記の表を参考に自分の食事内容の過不足を確認し、コマがうまく回る

かどうか確かめましょう。

丼ものや麺類などの一品料理は学生の人気メニューの1つです。具たくさんであるほど副菜や主菜の要素も含まれますが、基本的には主食に分類されます。副菜を補ってバランスをとることをお勧めします。それから、食事の際にマヨネーズを欠かさないとという学生もよく聞かれます。同じ料理を選んでも油脂類をとりすぎるとエネルギー量が高くなってしまいますので要注意です。マヨネーズに限らず、ドレッシングやバター、マーガリンなどの調味料も油脂です。適量を心がけましょう。

また、毎月19日は「食育の日」としてスーパー等でも食育推進の取り組みを行っています。食事バランスガイドを用いたレシピ紹介や食育に関する情報を発信していますので、お買い物の参考にしてみるのもよいですね。

なお、食事バランスガイド以外に食事バランスを簡単に見直す方法として、「弁当箱ダイエット法」があります。この方法は、当大学のホームページ <http://www.nuhw.ac.jp/> のNEWS&TOPICS (2007/12/28新潟県健康づくり・食育推進県民大会 参加報告) に掲載していますので、是非ご覧ください。お弁当を持参する学生、学食でお弁当を購入する学生は、必見です。

最後に、食生活はなんと言っても健康づくりの基本です。1日の食事摂取目安を上手に活用し、食生活のコントロール術を身につけて健康的で充実した大学生活をお過ごし下さい。

(健康栄養学科 玉木有子)



対象別、料理区分別、1日の摂取目安〔単位:つ(SV)〕

	主食	副菜	主菜	牛乳・乳製品	果物	エネルギー量の目安(kcal)
6～9歳の子ども、高齢者(70歳以上の男女) 「身体活動レベル低い」の女性	4～5	5～6	3～4	2	2	1600～2000
10～11歳の男児、「身体活動レベル低い」の男性 「身体活動レベルふつう以上」の女性	5～7		3～5			2000～2400
12歳以上の「身体活動レベルふつう以上」の男性	7～8	6～7	4～6	2～3	2～3	2400～2800

※身体活動レベル「ふつう」＝座り中心だが、歩行、軽いスポーツ等を5時間程度行う。これ以下は「低い」

※肥満(成人でBMI≥25)の場合は、体重変化を見ながら適宜エネルギーの量を「1ランク」下げる

主食:ごはん、パン、麺	ごはん軽く1杯、パン1枚、おにぎり1個＝1つ うどん、そば、スパゲッティ1人前＝2つ
副菜:野菜、きのこ、いも、海藻料理	サラダ1皿、野菜小鉢2皿＝1つ 中皿の野菜料理＝2つ
主菜:肉、魚、卵、大豆料理	卵1つ、納豆1パック、豆腐1/2～1/3丁＝1つ 魚料理1人前＝2つ 肉料理1人前＝3つ
牛乳・乳製品	ヨーグルト1個 チーズ1切れ＝1つ 牛乳1本＝1つ
果物	みかんなど小さい果物1個＝1つ りんご、なし1個＝1つ

転倒予防研究センターの取り組み

高齢者の転倒・骨折は、寝たきりの主な原因のひとつであり、医学的、社会的問題となっています。

新潟医療福祉大学及び新潟リハビリテーション病院は、この問題に対していち早く取り組み、多くのデータとノウハウを積み重ねてきました。当転倒予防研究センターはこれらの成果をさらに発展させ、地域貢献するために設立されました。



転倒予防研究センター
副所長 小林量作
(理学療法学科 教授)

●センターの活動目的と内容

①高齢者一人ひとりの健康増進・体力向上に貢献します。

センターで転倒予防のための運動プログラム開発しました（後述）。

②転倒・骨折予防、介護予防についての基礎的研究、疫学的研究を行い、学会発表などを通じて学問的貢献をします。

市町村の転倒予防教室の支援を行い、教室の企画、測定データの集計・解析、データの返却、報告書のまとめ等まで行います。

③市町村、高齢者施設、医療機関などが行う事業をサポートし、社会的貢献をします。

教員、大学院生の研究で、転倒予防運動の効果、全身振動刺激トレーニングの効果、「すべる」「つまずく」による転倒の力学的・動作学的メカニズム解明を行っています。

●センターで開発した運動プログラム

運動プログラムは、特別な機器を使用しなくても、誰でも、どこでも、いつでも、安全に実施できる「転倒予防10種運動」「集団リズム運動」「早足歩行（散歩）」という3つの柱を立てました。

「10種運動」は、体幹のストレッチング3種目、筋力向上運動5種目、バランス向上運動2種目で構成されています。高齢者が「10種運動」を行うには、適切な運動負荷とリスク管理が大切です。実施上の7つの留意点として、

- ①無理をしない
- ②最初の数週間は“ならし期間”
- ③自覚的運動強度による運動負荷
- ④運動量の変更は少しずつ
- ⑤いつでも・どこでも実施して良い
- ⑥休日を設ける
- ⑦痛みや動悸はすぐに相談 があげられます。

現在、「10種運動」の立位版・座位版ポスター、運動方法のビデオ・DVDを作製してあります。より詳しい運動プログラムをお知りになりたい方や質問がある方は、当センター事務局までお問い合わせください。

また、新潟県庁のホームページにも「10種運動」について紹介されています。ご覧ください。

http://www.kenko-niigata.com/21/step2/undousyuukan/exe_10syu_ritsui.html



●ご依頼を希望の方：依頼方法、契約について

下記の「問い合わせ先」までご連絡ください。依頼内容を記載する「依頼希望書」をご送付いたします。そちらに。開催希望日や依頼内容、予算等をご記入いただき、当センターへご送付ください。受領しましたら、代表者様宛に依頼内容についての最終確認のご連絡をいたします。

その後依頼内容について相互に合意した後、ご契約となります。

●問い合わせ先／転倒予防研究センター 事務局 までお気軽にご連絡ください。

〒950-3304 新潟市北区木崎761 新潟リハビリテーション病院 内 TEL.025-388-2146 FAX.025-388-2149
山本智章（所 長） nirehp.yamamoto@aiko.or.jp
小林量作（副所長） ryo-koba@nuhw.ac.jp
鈴木朋子（事 務） tomoko.suzuki@aiko.or.jp

健康スポーツ学科「下山ゼミ」紹介

今回は健康スポーツ学科の下山ゼミの紹介です。下山先生は水泳部の監督として毎日コーチングも行いながら、研究活動もされています。コーチング現場と研究を結びつけている『現場』について教えていただきました。

当研究室では、「水泳のトレーニング法」を主なテーマとして追究しています。所属している学生は水泳部員がほとんどですが、三浦先生のゼミと連携し、「水中運動の効果」及び「水泳の初心者指導法」等についても掘り下げており、広く「水」を扱う研究を進めています。

以下に、扱っているテーマについて簡単にご説明します。

1.水泳のトレーニング理論について

水泳のトレーニングはその目的や強度に応じて、有酸素性トレーニングと無酸素性トレーニングに大別されていますが、私たちは、有酸素性トレーニングのインターバル泳について着目しています。インターバル泳は短い休息を挟みながら行うトレーニング法ですが、このことに関する研究はあまり多くないのが現状です。しかし、現場では頻繁にこのトレーニング法が用いられているため、多くの現場のコーチは、経験や勘に基づいてインターバル泳のトレーニングを立案しています。そこで、私たちはインターバル泳のトレーニ

ング負荷に影響を与えている要因が何であるかを探るため、休憩時間の長さ、泳ぐ種目、専門種目などに関連づけて、血中乳酸濃度やエネルギー供給機構に着目して研究を進めています。



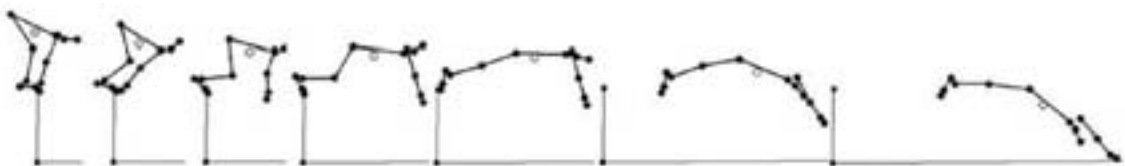
「水泳中の呼気ガス分析」

2.水泳の動作分析について

空気の約800倍もの密度を持つ「水」の中を進行する競泳は、大きな推進力を生むことと同時に、抵抗を減らすことがとても重要になります。抵抗は、速度の2乗に比例して大きくなるため、速く泳ぐことができる選手は、より大きな抵抗を受けることとなります。また、手足が不安定な状態で連続した動作を続けることは、容易なことではありません。このような競技特性を持つ競泳では、抵抗が少ない姿勢や、正確かつ効率の良い泳ぎ方の獲得が重要であるため、そのような身体運動の構造やメカニズムをデータで示していくこと

を学生と一緒に進めています。

加えて、水泳中のスタート台や壁を用いる局面では、手足が固定されるために推進効率が向上します。その局面である「スタート」や「ターン」時の動作分析を行うことで、理想の動きをデータや理論で客観的に証明し、科学的根拠に基づいたトレーニング方法や指導法を選手やコーチに還元していくことを目的に取り組んでいます。



「水泳スタートの動作分析」

3.水中運動について

ここで扱う水中運動とは、競泳とは異なる、水の特性（浮力、抵抗、水圧、水温など）を利用して行うエクササイズが中心となります。

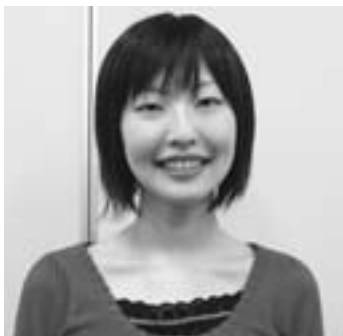
健康づくりが重要視される昨今において、水中運動のニーズはますます増加しており、屋外、屋内のプール施設数も年々増加傾向にあります。当研究室ではより安全に、より幅広い層の方に水中運動を実践していただくため、さまざまな観点から水中運動の功罪を調べています。現在所属している学生のテーマのひとつには「水中運

動とむくみ」というものがあります。むくみを経験したことがある方は少なくないと思いますが、水中運動によってむくみが改善できるのか？ということを探っており、健康分野のみならず、美容分野にも貢献できるよう、学生と試行錯誤しています。

このように、当研究室では水に関する様々なことを追究していますが「研究と現場の連携」を耐えず念頭において研究を進めており、得られた研究成果を社会に還元できるよう日々努力しております。学科を問わず、興味のある方は是非遊びに来てください。

ゼミ活動について

理学療法学科4年 廣瀬 友美



1年前期に行なう「基礎ゼミⅠ」では、同じ学科の学生同士で教員一人につき6人から7人のグループに分かれて、テーマを決めてグループワーク・発表を行います。このゼミは入学したばかりで、まだ学校生活に不安がある場合や、悩み事があるときは教員に、気軽に相談することができます。また、1年後期にある「基礎ゼミⅡ」では学科の枠を超えて、他学科の学生とグループワーク・発表を行います。自分と異なる目標を持つ人と意見を交わし、協力することで広い視野を身に付けることができます。医療・健康・福祉のチーム連携を意識できる絶好の機会です。

3年次のゼミでは、自分の興味のある分野に分かれ、卒業研究を進めます。長い期間をかけ、

実験や調査から得られた事実を考察し、一つの論文にまとめていく作業は、初めてで不安もありますが、それを支えてくれる教員や、協力してくれるゼミの仲間がいます。また、ゼミ単位の活動が増えるので、ゼミ内の親睦はかなり深まります。ゼミは研究の方法論を学ぶだけではなく、学生同士、教員とのコミュニケーションの場であり、今後行なわれる臨床実習、就職活動、国家試験対策などにもしっかり対応しています。

日々の学習について

作業療法学科2年 傳 孝育子



新入生の皆さんご入学おめでとうございます。私が入学してから1年間を通して勉強面で感じたことを紹介します。少しでも皆さんの参考となればうれしいです。

大学では1年生のうちから各学科で専門分野の授業があり、高校とは比べられないほど、覚えなければならないことが多いため、テスト前に一度に覚えようとしてもなかなか覚えられなかったり、覚えてもすぐに忘れてしまったり、少しずつでも日々勉強を積み重ねていくことが大切だと思いました。

また、私が高校と大きく違うと感じたのは、自分で授業を選択し、時間割を組み、履修届けを提出するということでした。履修届けがきちんと書けていないと、受けたいと思っていた授

業を受けられず、単位が足りなくなってしまうことがあるので、わからないことは恥ずかしがらずに事務の方や、先生方、先輩方によく聞いて提出することが大事だと思いました。このように大変な部分はありますが、自分で授業を選択するので、その授業に対して興味を持って勉強に取り組むことが出来ます。

これから始まる大学生活を一緒に楽しいものにしていきましょう。

定期試験について

言語聴覚学科4年 家塚 由佳



大学に入って痛感したことは、高校時代とは違って自分の興味ある勉強が多くあることです。専門職として、特殊な資格を取得しようとしているのですから高校のような広い知識は問われません。しかしその分、専門の科目については深く学ばなければいけません。

大学の講義は全般的に学生にわかり易く整理されたものになっています。ですが、ただ聞いているだけでは身につくものではありません。高校時代は先生が話したことを憶えるのみの授業でしたが、大学では先生が話したことを起点に、たくさんの本や自分の考えを巡らすことによって更に深い知識付けをしていかなければなりません。確かにテストの点数を上げるのは大事なこともかもしれませんが、将来一人の責任あ

る専門家として生きた知識を身につける必要があります。

求められる知識は膨大で4年間では学びきれません。ですが、自分が目指す専門職になる夢を叶えるためには「なんとなく」勉強しては難しいと思います。自分を知り、自分の無知を明らかにする事、興味を持って人の話を聞くこと、貪欲に知識を得たいという気持ちを持つことが必要だと思います。

一人暮らしについて

看護学科2年 北野まどか



私は地元を離れ、一人暮らしをはじめて約1年になります。一人暮らしを始める前は、ホームシックになるのではないかと、新潟へ行く友達がいないということが不安で仕方ありませんでした。

しかし、実際の生活は私が予想していた心配は何一つ当てはまらず、毎日が「楽しい」でいっぱいでした。学校では自分の夢に向かって勉強に励み、休日は新しい友達が遊びに来てくれたり、私も友達の家遊びに行ったりと、一人で過ごす時間が比較的少なく楽しく過ごしています。

料理や洗濯・掃除などの家事もやりがいがありますし、今後は、もっと料理のバリエーショ

ンを増やしていくことにチャレンジしていきたいと思っています。

また、新潟での生活を始めて、私は両親のありがたみをすごく感じています。今までは、ほとんどやったことなかった家事を毎日こなすことで、地元にいるときには気付かなかった目には見えない両親の苦勞がほんの少しではありますが身に染みて感じています。

このように、地元を離れて暮らすことで、自分のことだけではなく、今まで自分を支えてくれていた両親や環境についても考えることができ、将来恩返しするためにも今頑張ろうという気持ちになれます。

ショッピング・お勧めスポット

社会福祉学科 2007年度卒業生 青田 治樹



新潟は、夏は暑く冬は寒いといったように、季節感をはっきりと感じられます。春は桜が綺麗に咲き、夏は海水浴や花火大会が楽しめます。秋はブランド米の「コシヒカリ」をはじめ山の幸、海の幸と新鮮で美味しい食べ物も多く、冬はウィンタースポーツも楽しめます。

買い物は、新潟市の中心街、万代シティエリアと古町エリアの2つのエリアがお勧めです。次々と新しいお店がオープンする注目の街、万代エリアは去年、専門店型商業ビル「ラブラ万代」がオープンし、一層楽しくなりました。歩いて行ける範囲で、服から食材まで欲しいものが揃うのでとっても便利です。

また、新潟市は政令指定都市となり、これか

らますます発展していくことと思いますが、季節によっていろいろな表情を私たちにを見せてくれ、とても生活しやすく、一年を通して生活のニーズを十分に満たすことのできる街だと思っています。

そして、私の一番のお勧めは本学からも見ることができる日本海に沈む夕日です。晴れた日の夕方は本当に大きくて綺麗に見えます。夕方までの講義で疲れていても、この夕日を見れば疲れを忘れさせてくれます。ぜひ、日本海の景色とともに、夕日を見てほしいです。

オープンキャンパスの思い出

義肢装具自立支援学科2年 関谷有衣子



私は本学のオープンキャンパスやキャンパスツアーに参加したことは一度もありませんでした。ですから、本学にはじめて来学したのは入学試験のときになります。

大学に入学してから思うのは、やはりオープンキャンパスやキャンパスツアーには必ず参加したほうが良いということです。なぜなら、大学案内やパンフレットだけではわからない情報もたくさんありますし、実際に学内を見学したり、実習機器に触れたり、先生や在学生の話しを聞くことによって、自分自身あらためて感じることがあるからです。

私は、入学してから2回ほどオープンキャンパスの手伝いをしましたが、自分が高校生を迎える側の立場に立ってみて、あらためて高校生のときに参加すればよかったなあと後悔しています。

自分がオープンキャンパスに参加できなかった分、これからは、将来の夢に向かって頑張っている後輩たちのために、新潟医療福祉大学のよさを実感してもらえるよう積極的にオープンキャンパスの手伝いに協力していきたいと思っています。



部活動紹介

フットサル部

私たちフットサル部は週2回（夕方）、学外の体育館を使用し、活動を行っています。部員数はマネージャーを含めて35名です。他大学との練習試合や大会参加等も定期的に行っています。

現在フットサルはサッカー経験のない人からも人気のあるスポーツであり、実際にうちの部活にもサッカー未経験の人が何人も所属しています。上下関係がなく、とてもフレンドリーな雰囲気の部活で「プレーを楽しむ」ということを1番の目的としています。だから、馴染みやすく多くの仲間をつくることもできると思います。

サッカー経験がないけどフットサルに興味があるという人でも本気でフットサルをしたいという人でも入部大歓迎です!! フットサ

ル部に入部して、4年間のキャンパスライフをより充実したものにしていきましょう。お待ちしております。



写真部

私たち写真部は、とても自由な部活です。

何をするかを、あらかじめ決めて活動するのではなく、部員みんなでやりたいことを話あい、企画しながら活動内容を決めていきます。もちろん時には各自がひとりで自由に撮りたいものを撮ることもあります。大学祭やオープンキャンパスなどの学校行事では部員みんなでカメラを持って走り回ります。ファインダー越しに見る大学は、普段とはことなる表情を見せ、また自然とたくさんの人たちとの繋がりが生まれ、思い出に残る写真を撮ることができます。現在、写真部には40名の部員がいて、専門的な写真の知識もまだ足りないですが、一人ひとりが自分の目線と感性で、

4年間の大学生活の大切な時間を写真に残しています。



レクア.コム部

レクア.コムとは「レクリエーション(リ・クリエイト＝創造)&コミュニケーション」の略で、さまざまな年齢や障がいのある方を対象として、年間約50を超えるボランティア活動をしています。この部活の特徴は、頼まれた活動をこなすだけでなく、そこから何かを得て自分の将来のベースとすることです。例えば、夏の地元商店街のお祭りや花火大会の運営ボランティアスタッフとして加わり活動したり、大学構内をコースとした「はまなす駅伝大会」を共に開催したり、地元小中学校の文化祭にバザー出店、地域の「餅つき大会」に参加して、地域の方と共に楽しさ・美味しさを味わったりとほんとうに様々です。中には、年間を通じて小中学校での学習支援等の関わりを持つ学生も多くいます。これら多くの地域貢献活動は学生・教員

が地域の一員という意識を持ち、大学と地域が一体となり活性化させることを狙いとして「若い力」を活かし活動しています。

大学も地域の一員です!さまざまな活動を通し地域とのつながりをもっています。



クラブ・サークル一覧

【強化指定クラブ】

トップアスリートの育成を目標に競技力の向上と人間性の向上を目指し日々トレーニングに励んでいます。

- バスケットボール部 男子・女子
- 水泳部
- サッカー部 男子・女子
- 陸上競技部（駅伝チーム）

【クラブ】

- バレーボール部
- サッカー部
- 硬式・軟式テニス部
- 軟式野球部
- 陸上競技部
- 剣道部
- ハンドボール部
- フットサル部

- 卓球部
- バドミントン部
- 弓道部
- 準硬式野球部
- レクア.コム部
- 和太鼓部「颯」
- 吹奏楽部
- VICON部

- 茶道部
- 短編映画自主制作部
- 軽音楽部
- 園芸部
- 写真部
- 手話部
- 学生サークル「Kids」

やりたいことがあるという思いから、体育会系や文化系・ボランティア系のクラブ・サークルを学生自身が創り出し、活動しています。学業だけでなく多くの出会いがあります。

ダンスサークル

音を楽しむと書いて「音楽」。僕たちは体を動かして音を楽しむサークルです。ブレイク・ヒップホップ・ホップ・ロックなど色々なジャンルのダンスを踊っています。毎年、学園祭の前夜祭にダンスイベントを開催しています。サークルの自慢は、なにより仲がいい事。先輩・後輩・初心者・経験者関係なく楽しく活動しています。初心者は、特に優しくて変な(?)先輩達が手取り足取り教えてくれるので安心です。実際、部長の僕自身も大学に入ってからダンスを始めました。最初は軽い気持ちで始めたのですが、今では大学生活に欠かせないものになりました。決してダンスが上手い訳ではないですが、自信を持って言える事があります。「ダンスって楽しい!仲間と踊るダンスはさらに楽しい!!」。経験のある人もない人も、そして大学生活を充実したものにしたいと思っている人も、是非ダンスサークルに参加してみませんか!



手話部

手話部は毎週木曜日に第二厚生棟で活動しています。ただ手話を覚えるだけではなく、豊栄手話サークルの皆さんとの交流を通して、多くのことを学んでいます。

また毎週月曜日には、太夫浜保育園で手話歌指導も行なっています。園歌や卒業ソングなどの手話歌を楽しく教えています。昨年の大学祭では手話歌発表と唐揚げのお店を出店しました。

これからも手話を通して、地域の方との交流を行なっていくと考えています。



【サークル】

- フットサルサークル
- ダンスサークル
- キネマサークル
- 運動学研究会
- フィットネスサークル
- ワイルドサークル
- 英会話団体「葵」
- ソフトボールサークル
- ラクロスサークル
- バスケットボールサークル

19年度強化部成績

【バスケットボール部(男子・女子)】

(男子)

- 「北信越学生春季リーグ戦」3部B優勝3部A昇格
- 「第4回新潟カップ(国体成年男女選考会)」準優勝
- 「平成19年度新潟日報杯バスケットボール選手権大会」
準優勝

(女子)

- 「北信越学生春季リーグ戦」2部優勝1部昇格
- 「第4回新潟カップ(国体成年男女選考会)」優勝
- 「第56回西日本学生バスケットボール選手権大会」ベスト8
- 「第41回北信越学生バスケットボール選手権大会」優勝
(2年連続2回目インカレ出場)

【水泳部】

- 「第48回日本短水路選手権水泳競技大会」
・800m自由形 郡山奈々(健康スポーツ学科2年)5位
澤田 涼(健康スポーツ学科3年)6位
- 「第83回日本選手権水泳競技大会」
・800m自由形 澤田 涼 7位
- 「第83回日本学生選手権水泳競技大会」
・800m自由形 澤田 涼 6位
- 「第62回国民体育大会競泳競技」
・成年女子200m個人メドレー 澤田 涼 7位 [石川県代表]
・成年男子200mリレー 駒形進(健康スポーツ学科2年)5位
[新潟県代表]
- ・成年男子400mメドレーリレー 駒形 進 8位

【サッカー部(男子・女子)】

- 新潟県大学・高専リーグ 1部 優勝
- 「総理大臣杯北信越大会」 3位
- 北信越大学サッカーリーグ1部 準優勝
- 北信越フットボールリーグ昇格

【陸上競技部(駅伝チーム)】

- 「第81回北信越学生陸上競技対校選手権大会」
・男子5000m 牧 良輔(健康スポーツ学科3年)3位
・男子3000m障害 内田祐介(健康スポーツ学科3年)7位
- 「第61回新潟県陸上競技選手権大会」
・男子3000m障害 牧 良輔(健康スポーツ学科3年)優勝
杉坂侑磨(健康スポーツ学科1年)3位
内田祐介(健康スポーツ学科3年)6位
・女子3000m障害 我妻里美(健康スポーツ学科2年)優勝
- 「2007全日本学生陸上競技チャンピオンシップ」
・男子1500m 牧 良輔(健康スポーツ学科3年)5位
・男子3000m障害 牧 良輔(健康スポーツ学科3年)3位



厚生棟・施設紹介



本学には数多くの専門的な施設設備がありますが、今回は学生のみみなさんが昼休みや授業の合間にくつろぐ本学の厚生施設にクローズアップしてご紹介します。



第1厚生棟

1階／ふれあい食堂

講義の合間や、昼休み放課後などにコミュニケーションの場となるのが、このふれあい食堂。ボリューム満点！価格もお手頃と学生に好評です。



第2厚生棟

kamu Friends

全60種類からの焼きたてパンが日替わりで販売されています。ドリンクバーやケーキなどのデザートもあり、ランチタイムではなく、学内のカフェとしても人気があります。



2階／コンビニエンスストア

本学学生なら全品5%offのコンビニには学生生活には欠かせません。食品や文具・専門書籍や白衣まで揃う豊富な品揃えはこのコンビニにだけ。まさに学生のためのコンビニです。



第3厚生棟

1階・2階／B・Cホール

1階は250席の食堂・2階は400席の学生サロン。2階はLAN設備が設置され。パソコンの利用も可能です。



3階／軽食喫茶「kid's」

日替わりで手作りのカラフルなお弁当やケーキが並びます。晴れた日にはこのお弁当を買って中庭でランチなんて最高に気持ちいい。



キャッシュレスシステム

B・Cホールは、学生証（ICカード機能付）でのキャッシュレスシステムを導入。事前にチャージ（入金）することで食堂での精算をスムーズにし、ランチタイムの混在を緩和します。



本学水泳部澤田涼選手が2008世界選手権において8位入賞の快挙！

4月9日(水)～13日(日)に英・マンチェスターにおいて「2008短水路世界選手権」が行われ、本学水泳部の澤田涼選手（健康スポーツ学科4年）が日本代表として出場しました。北京オリンピックを8月に控え、その前哨戦として世界新記録が18個も更新された今大会において、澤田選手は400mメドレーリレーにおいて第一泳者として力泳。見事決勝へ進出し、8位入賞を果たしました。また、個人種目でも800m自由形において自己記録を更新し、11位という好成績を修めました。

〔澤田 涼選手〕

「幼い頃から憧れていた日本代表でしたが、実際は想像以上に責任が重く、大会前や大会中には、代表のプレッ



ヤーの大きさに悩んだりしました。しかし、不安と同時に誇りを持ち始め、代表選手としての自覚が出てきました。経験したことのない大舞台で自己ベストを出し、世界レベルの大会で今の自分を最高の形で表現できたことは、大きな自信になりました。今後も、今回の経験を生かし、これまで以上の飛躍を目指していきます。応援ありがとうございました。」

〔水泳部 下山監督〕

「今回は、澤田選手にとっても監督の私にとっても初めてジャパンを背負っての国際大会で、国内の大会とは全く異なる環境の中、多くの貴重な経験をする事ができました。今回の経験を日本の水泳界に、そして地元新潟の



水泳界に、そして本学水泳部に還元していこうと思います。そして、これからも更なる飛躍を目指して精進していきます。」

〔これまでの主な戦跡〕

- 「第48回日本短水路選手権水泳競技大会」
800m自由形 6位
- 「第83回日本選手権水泳競技大会」
800m自由形 7位
- 「第83回日本学生選手権水泳競技大会(全日本インカレ)」
800m自由形 6位
- 「第62回国民体育大会競泳競技」
成年女子200m個人メドレー 7位[石川県代表]
- 「FINA(国際水泳連盟)世界ランキング」
800m自由形 36位

高等学校進路担当教諭対象 大学説明会を開催しました

7月1日(火)、高等学校の進路指導担当の先生方を対象とした大学説明会が開催され、県外からの参加を含む33校34名の先生方にご参加いただきました。

この説明会は、受験生が志望分野や志望校について本格的に進学先を考えるこの時期に、今後の進路指導の参考にさせていただけるよう毎年開催しています。

当日は高橋学長からの挨拶の後、入試広報担当者より本学の教育体制や学生支援体制等

を始めとした大学の概要について、そして平成21年度入学選考試験の概要や評価のポイント等について資料をもとに説明致しました。

ご参加いただいた先生方からは、「国家試験及び就職指導について、将来を見据えたきめ細かな指導体制と高い実績に感心した」「入試のポイントについて理解でき、進路指導の参考になった」等のご感想を頂き、大変有意義な機会となりました。



日本リハビリテーション連携科学学会 第9回大会 開催報告

3月23・24日両日に本学を会場として「日本リハビリテーション連携科学学会 第9回大会」が開催されました。大会テーマは「健康長



寿を目指すQOLサポーターの連携」。健康長寿社会の実現を目指すために、リハビリテーションは益々多職種間の効率のよい連携が必要とされています。その中で我々は安心できる地域社会のために、連携を基礎として健康長寿を目指すよきサポーターでありたいという熱い思いのもと「リハビリテーション連携」とは何かを深く考えていかなければいけません。当日は、基調講演として、本学高橋学長による「健康長寿を目指すQOLサポーターの連携」と題した講演や「保健医療福祉連携教

育の実現にむけて」と題したシンポジウム、海外講師を招聘しての講演講演など、新たな「連携科学」を皆さんと一緒に考える、非常に良い機会となりました。



いよいよオープンキャンパスが開催!!

■開催日時

8月9日(土) 午前の部 10:00～13:00

午後の部 13:30～16:30

9月6日(土) 13:00～16:30

今年のオープンキャンパスでは、過去最大となる20種類以上(!)の体験プログラムを用意し、皆さんの「知りたい」全てにお応えしま

す! もちろん大学の特色や入試の説明をはじめ、在学生や教員に直接相談できる相談コーナーや保護者対象説明会など、様々なプログラムを用意しています!さらにオープンキャンパス限定のプレゼント企画も実施!

この機会に是非、新潟医療福祉大学で「夢のカタチ」を見つけてください!



詳細・お申込みは本学HPまたは携帯版HPでご確認ください。

学友会

学友会長のあいさつ



学友会会長
吉田 聡介

平成20年度学友会長の理学療法学科3年吉田聡介です。昨年度は副会長として仕事をして大学祭、会計の仕事、スポーツ大会や自治の仕事など多くの反省点があったことを受け、今年度から学友会会則をかえました。大きく変わった点は、大学祭を学友会と大学祭実行委員が一致団結して盛り上げる点です。以前

までの大学祭では学友会はお化け屋敷、学祭実行委員が大学祭全体担当でしたが、より良い大学祭にするためにも力を合わせて運営していきたいと思います。他にも部活やサークルの管理方法、掲示板の管理方法、学友会構成委員の変更などがあります。新潟医療福祉大学が開学して8年目になり基盤が出来てきました。これから学生皆さんが過ごしやすい学園生活を送れるよう頑張りますので学友会を温かい目で見守ってください。

受験生のみなさんへ

イベント案内

オープンキャンパス

第1回／7月13日(日)
第2回／8月9日(土)
第3回／9月6日(土)

大学説明や入試説明はもちろん、計20種類以上の体験プログラムを用意し、皆さんの「知りたい」全てに応えます！

キャンパスツアー

第4回／10月5日(土)
第5回／11月1日(土)
第6回／12月6日(土)

入試対策講座など開催ごとに異なるプログラムを用意し、みなさんが『今』知りたい情報を提供します！

伍桃祭(大学祭)

1日目／10月4日(土)
2日目／10月5日(日)※

※キャンパスツアーと同時開催

ゲストを招いてのライブなど様々なイベントを実施します！是非キャンパスライフの楽しさを体感してください！

メールマガジン案内

Eメールアドレスが無くても大丈夫!!

新潟医療福祉大学では月1度、本学の様々な情報をメールマガジン「QOLサポーター新潟(NUHW)」として皆さんにお届けしています。オープンキャンパスやキャンパスツアーなどのイベント情報・入試情報といった最新情報や、教員・学生からのメッセージ、先輩の合格体験談など進路決定や入試対策の参考になる特集をはじめ、様々な内容を予定しています。Eメールアドレスをお持ちでなくても、インターネットに接続できるパソコンがあれば、どなたでもご覧いただけます。ぜひ本学ホームページから登録ください。

ホームページ案内

<http://www.nuhw.ac.jp/>

<http://www.nuhw.jp/m/>
(携帯電話からはコチラ)



新潟医療福祉大学の情報が満載です。新着情報やイベント情報などを随時更新していきます。ぜひご覧ください。資料請求・イベント申込み、メールマガジン登録等はこちらからどうぞ。

大学院

大学院のご紹介

わが国では、大学・大学院における医療・保健・福祉分野の研究・教育組織はまだ極めて少ないのが現状です。本学ではこういった現状を受け、2005年度に修士課程、2007年度に博士後期課程を設け、先進欧米諸国の水準を目標に、教育・研究体制の整備を進め、この分野の研究を推進しています。本大学院の院生の中には、理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・管理栄養士・看護師・健康運動指導士・社会福祉士等々、保健・医療・福祉分野において現役で活躍している方々が多数学生として在籍しており、修了生の中にも大学教員として就職された方、病院・施設に戻り現場の第一線で活躍している方等がいます。本大学院では今後も新しい時代に即した高度専門職業人と優れた教育者・研究者を育成し、医療・保健・福祉に対する社会的ニーズに応えていくことを目的とします。



新潟医療福祉大学

〒950-3198 新潟市北区島見町1398番地 TEL025-257-4455(代) FAX025-257-4456

URL <http://www.nuhw.ac.jp/> 携帯サイト <http://www.nuhw.jp/m/>

【入試事務局】TEL025-257-4459 E-mail nyuusi@nuhw.ac.jp

